

経営比較分析表（令和3年度決算）

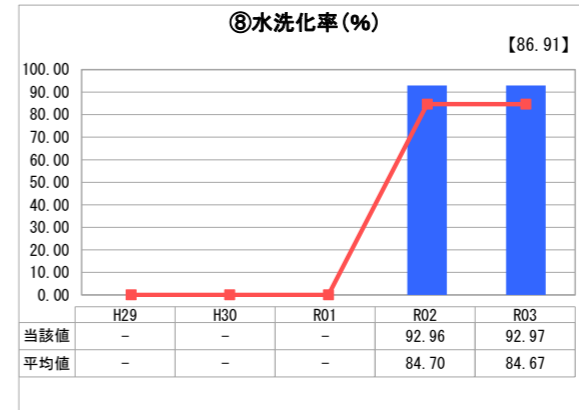
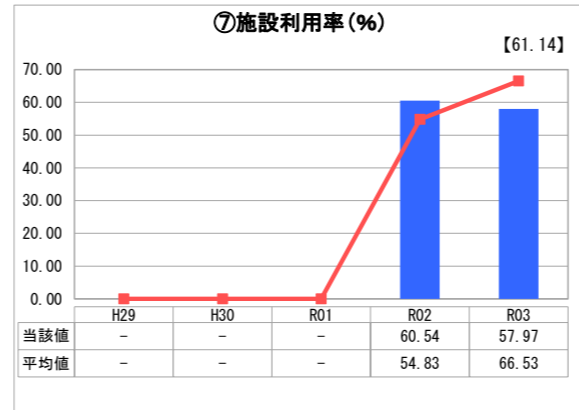
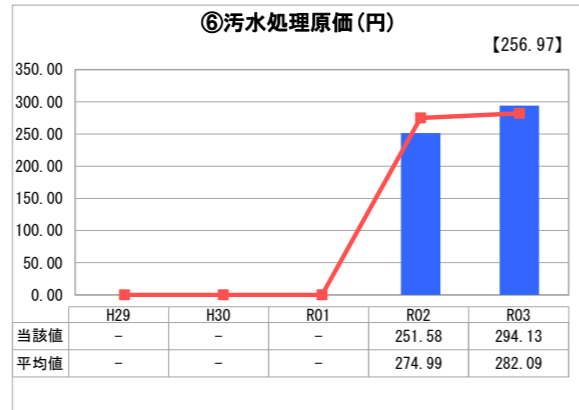
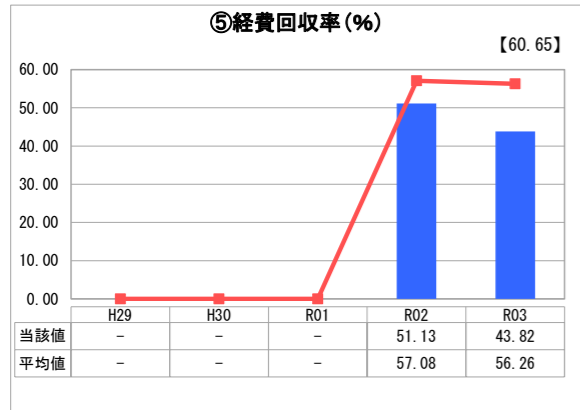
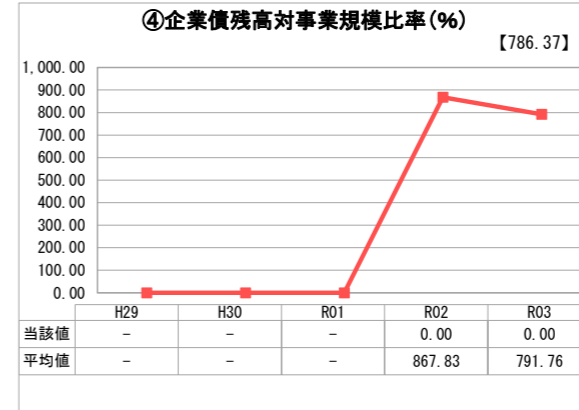
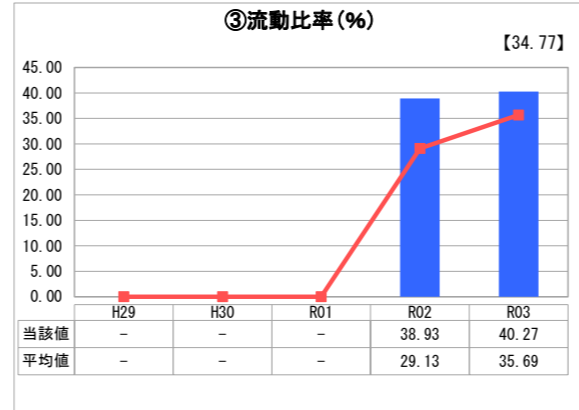
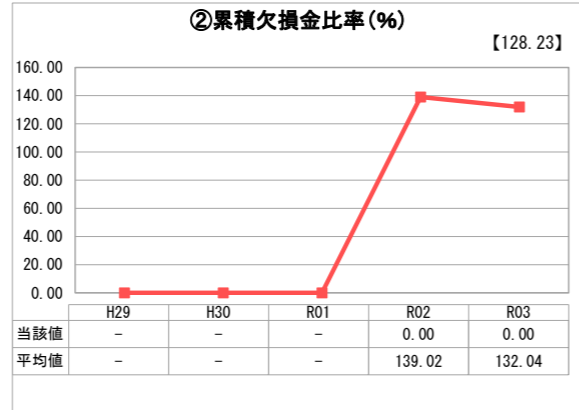
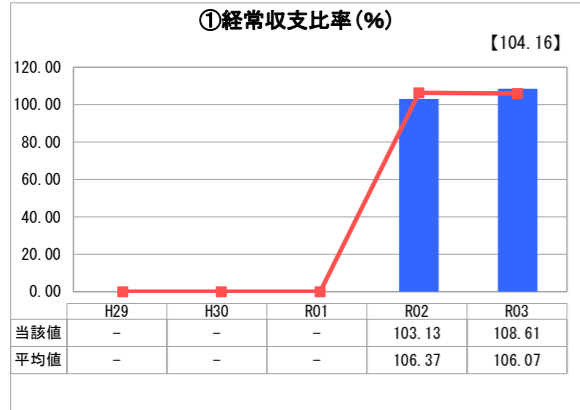
埼玉県 小川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.51	5.19	89.87	3,195

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,647	60.36	474.60
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,480	3.02	490.07

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

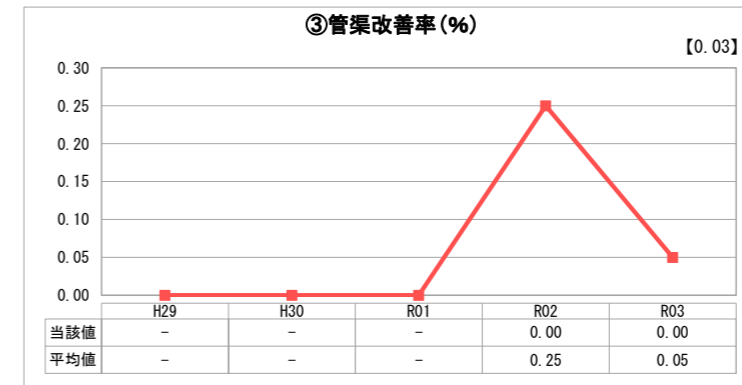
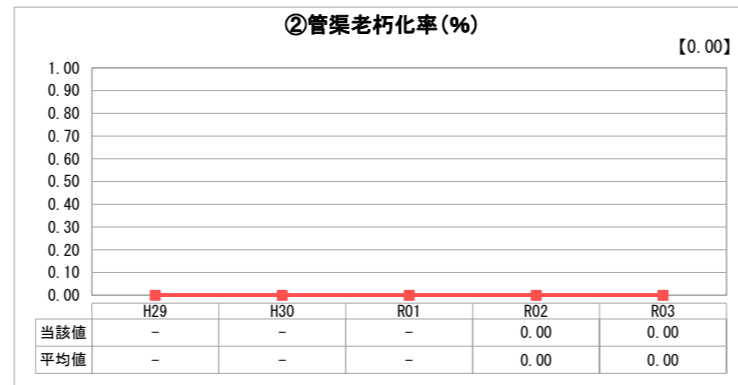
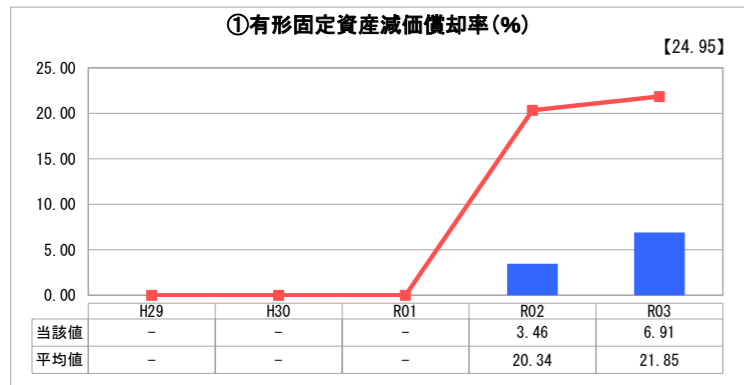
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
類似団体と同程度の数値となっているが、実態は一般会計からの基準外繰入金に頼った経営となっている。
- ② 流動比率
平均と比べ高い数値となっているものの、現金等の流動資産に比して企業債償還額を含む流動負債が大きくなっている状況となっているため、現金等の確保に向けた取組が必要である。
- ③ 企業債残高対事業規模比率
企業債残高のうち、全額を一般会計が負担するという数値となったため、当該値は0となった。
- ④ 経費回収率
類似団体と比較して低い数値である。しかしながら、汚水処理に係る費用を使用料で賄っていないため、適切な使用料確保に向けて使用料改定を検討していく。
- ⑤ 汚水処理原価
類似団体と同程度の数値となった。3処理場の運営が大きな経費となっているため、処理場を統合し経費の削減を目指す。
- ⑥ 施設利用率
類似団体よりも低い数値となった。現在3つある処理場を2施設に令和5年度中に統合することにより、令和6年度以降は利用率が上がっていく見込み。
- ⑦ 水洗化率
類似団体よりも高い数値となったが、水質保全の観点から継続して水洗化向上の取組を行っていく。

2. 老朽化の状況について

当町では3つの農業集落排水区域があり、最も古い地域では供用開始から25年が経過する。現状では処理場の維持修繕に多くの費用を必要としている。今後は人口減少や施設の老朽化等を動かし、3処理場を2処理場に統合する予定。
また、管渠の経過年数的には、直ちに老朽化に伴う更新が必要な状況ではないが、人口減少を見据えた長期的な使用料収入を予測したうえで、更新投資に充てる財源を確保していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

公営企業会計への以降に伴い、独立採算制が求められている中で、実態としては経営状態は非常に厳しく、一般会計からの基準外繰入金に依存せざるを得ない状況である。
今後は3処理場を2処理場へ統合することにより、費用削減を図るが、人口減少による使用料収入の減収も予想される。
長期的な収支見通しを見据える中で、更なる費用削減を検討し、それでもなお財源が不足する場合には、使用料改定を検討する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。